

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.328



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2012年2月8日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

後期高齢者医療の保険料

平均年額4800円の引き上げで9万円超に

神奈川県後期高齢者医療広域連合は3日、議会を開き、新年度予算等について審議しました。

後期高齢者医療の保険料は2年毎に見直しが行われますが、2012年度が改定の年となります。同連合は、2012・2013年度の医療保険料

を、年間均等割で1,839円増の4万1,099円、所得割率を0.59%増の8.01%とし、1人当たりの平均保険料を4,836円増の9万560円になるとしています。平均的な厚生年金(201万円)の場合は、5万2,100円になります。(2面に続く)

後期高齢者医療保険制度・第1号被保険者の保険料

	2012～ 2013年度	2010～ 2011年度	値上げ額(割合)	
均等割額(年額)	41,099円	39,260円	1,839円	(4.68%)
所得割率	8.01%	7.42%	0.59%	(7.95%)
1人当たり平均保険料	90,560円	85,724円	4,836円	(5.64%)
厚生年金の平均的な年金額(201万円)の場合	52,100円	49,210円	2,890円	(5.87%)

注) 収入が201万円の場合は、均等割(2割)、所得割(5割)とも軽減措置があるため、平均保険料に比べて低くなります。

基金の取り崩して保険料を下げよ

後期高齢者医療制度は、被保険者数や医療給付費が増えると保険料が上昇するしくみです。広域連合は、財政安定化基金60億円のうち40億円を保険料上昇抑制のために使います。

一方、東京都や福岡県では、2012・2013年度に積み立てる分も保険料上昇抑制のために使うとしています。

日本共産党の井口真美連合議会議員(川崎市議)は、基金を全額使うとともに、東京都のように2012・2013年度の積立金を入れれば1人当たりの平均保険料は約8万7000円、年金201万円の人には約5万円となり、値上げ幅は大幅に抑えることができるはずだと指摘しました。

これに対し、阿部孝夫連合長(川崎市市長)は、不慮の事態に備えて基金を蓄えると答えました。

高齢者の生活実態に

思いを馳せよ

日本共産党の古谷やすひこ連合議会議員(横浜市議)は、保険料引き下げ等を求める陳情について、高齢者の生活実態に思いを馳せ、保険料の引き下げにあらゆる努力をすべきであると主張するとともに、引き続き短期証の発行はしないよう求めました。

議会では、保険料の改定を含む全議案が日本共産党の2人を除く賛成多数で可決・成立、保険料引き下げ等を求める陳情は日本共産党を除く反対多数で不採択となりました。

議会では、日本共産党の2人の議員が次々と質問と討論に立って大活躍。他の議員は予算案について2人が質問したにとどまりました。

高齢者の医療費

(厚生労働省ホームページより)

利用者負担

税金 約5割

高齢者の保険料
1割(注)

若い世代の保険料
約4割(注)

(注)若い世代が減少することを踏まえ、若い世代と高齢者世代の負担の均衡を図り、2年ごとに見直し

シリーズ『あおば子育て事情』(103)

子どもと向き合う？

江口 寛

横浜市は、先生方と生徒・児童が向き合うため、初任者支援サポーターの新設、児童支援専任教諭、スクールカウンセラーの増員とともに、名簿や連絡票の作成・管理を一元化する「校務システム」を全市立中学校に導入すると発表した。はたして、先生方の事務量が減り、生きいきとした生徒・保護者との交流が復活するのだろうか。

近年、連絡票をパソコンで作成するようになり、「来学期は・・・死体ですね。」というような、とんでもないミスが生まれ、その対策に、早めに文書を作成する、複数の目でチェックすることが重視され、その結果、当らず触らずの文章がまかり通ってはいないだろうか。



例1：久しぶりの友人のグチ。連絡票の教科所見の訂正を指示されたそうだ。この学校では「ほめて育てる」の方針で、悪いことを書くのはタブーなのだそうだ。

「これでは、2や3の生徒がどこを改めどう努力したらいいか、わからないじゃないか」と、憤慨！

例2：一方、若い先生からこんな話も聞いた。

「責任をもって〇〇係の仕事しました」の「仕事」を「役割」に換えるよう言われた。どうやら校長先生は「仕事はお金をもらってするもの」というポリシーがあるようだ。

例3：「積極的発言しています」としたら、「評価が3なら、改善点を書きなさい」と言われた。

「提出物を出しましょう」と換えたら、やる気が出る？ これには、「ワークの未提出が残念でした」とアドバイスして納得したが・・・。

無料法律相談

毎月第一、第三木曜日

時間午後7時より

場所：桜台大貫事務所

協力：東京合同法律事務所

予約制／1人30分

申し込み TEL 981-4805

生活相談は、いつでもOKです。
困った時には、お気軽に電話を！



福島原発、恐ろしい実態…鳥減少、脳小さい鳥

事故後の環境変化を調べる研究日米チームが調査報告

新聞各紙が4日、福島第一原発事故による放射能被曝に関わる衝撃的なニュースを報道しました。共同通信配信の記事は次の通り。

「3日付の英紙インディペンデントは、東京電力福島第1原発の事故による環境への影響を調べている日米などの研究チームの調査で、同原発周辺で鳥の数が減少し始めていることが分かったと報じた。調査結果は来週、環境問題の専門誌で発表される。

研究チームは、1986年に事故が起きたウクライナのチェルノブイリ原発と福島第1原発の周辺で、放射性物質放出による生物への影響を比較調査するため、両地域に共通する14種類の鳥について分析。

福島の方が生息数への影響が大きく、寿命が短くなったり、オスの生殖能力が低下したりしていることが



わが家（大貫）の裏庭につくったえさ場でミカンを食べるメジロ（4日撮影）

確認されたほか、脳の小さい個体が発見された。このほか、DNAの変異の割合が上昇、昆虫の生存期間が大きく減少するなどの影響も見られた。」

環境ホルモンのダイオキシンでオスのメダカが減少したという報道も衝撃的だったが、目に見えない放射能被害もとてもこわい。64歳の私はいいが、かわいい孫やひ孫、将来の子どもたちが心配だ。



ミジンコの独り言 娘がホームベーカリーをプレゼントしてくれた。ご飯を使ったパンを作ってほしいという。さっそくレシピを見て、ご飯を水で1時間ふやかし、小麦粉・砂糖・塩・ドライイーストを入れてスイッチオン。時間はかかるが手間なしでもちもちしておいしいパンができた。機械はやっぱりすごいと実感。(M)